

# 第1章 | 基本的な考え方

## 1 県政の基本目標

本県では、平成26年(2014年)4月から「晴れの国おかやま生き生きプラン」に基づき、「生き生き岡山」の実現に向けて、「教育県岡山の復活」、「地域を支える産業の振興」、「安心で豊かさが実感できる地域の創造」という3つの重点戦略の下、各種の施策を着実に推進してきました。

教育や産業分野をはじめさまざまな分野で、これまでまいてきた種が芽吹き、広がりつつある好循環の流れを一層加速させ、前向きに挑戦できる岡山、明日が楽しみになる岡山、すなわち、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を、引き続き県政の基本目標とし、その達成に向けて全力で取り組んでいきます。

## 2 基本目標の実現に向けて

### (1) 自立と連携及び協働

分権型社会の基本原則である「自己決定・自己責任」と、地方と国との「対等・協力」関係を踏まえ、創意工夫を凝らしながら、「自立」した個性と魅力にあふれる豊かな地域づくりを目指します。

また、市町村と緊密な連携を図り、「生き生き岡山」の実現に向け、それぞれの役割分担の下、地域課題の解決に取り組めます。

さらに、多様化する行政ニーズに適切に対応するため、県民、ボランティア・NPO、企業、大学など、さまざまな主体と目標を共有し、その実現に向かって「協働」しながら、活力ある地域づくりに取り組めます。

### (2) 県民の要請に応える行財政経営

「生き生き岡山」の実現に向けた取組を加速するためには、行政の在り方についても、従来の枠組みや固定的な発想にとらわれず、時代の要請に的確に対応できる柔軟で活力ある行財政システムを構築することが必要です。

このため、これまでの行財政改革の取組の成果を維持するとともに、引き続き「顧客重視」、「コスト意識」、「スピード感」の3つの視点を持って不断の改革・改善に取り組み、社会経済情勢の変化や県民ニーズに的確に対応するなど、県民の要請に応える、効率的、効果的な行財政経営を行います。

## 3 プランの性格等

新晴れの国おかやま生き生きプランは、県政において最上位に位置付けられる総合的な計画であり、県政推進の羅針盤として、将来の目指すべき岡山の姿を描く長期構想と、その実現に向けて、平成32年度(2020年度)までに重点的に取り組む行動計画という2つの性格を併せ持つものです。

### (1) 長期構想

長期構想は、時代の潮流と課題について整理するとともに、本県の発展可能性をまとめた上で、将来目指すべき岡山の姿を明らかにするものです。

長期構想では、2030年頃を展望した目指すべき岡山の将来像について、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を目指すことを述べるとともに、県民局の区域ごとに地域の目指す姿を示します。

### (2) 行動計画

行動計画は、長期構想の実現に向けて重点的に取り組む戦略や施策を盛り込んだ計画です。

行動計画では、選択と集中による政策の重点化を図り、「教育県岡山の復活」、「地域を支える産業の振興」、「安心で豊かさが実感できる地域の創造」の3つの重点戦略と「おかやま創生」実現の加速に向けた「おかやま創生推進連携プロジェクト」を掲げ、施策を効率的、効果的に実施します。

行動計画の計画期間は、平成29年度(2017年度)から平成32年度(2020年度)までの4年間とします。

